

あなたの周りに妊娠婦の方、小さいお子さんを育てている方はいませんか。妊娠・出産・子育ての始まりの時期は、誰もが不安になります。妊娠中より精神的に不調を感じてしまう場合もあります。この期間にみられる代表的な精神疾患である産後うつ病は、出産後に診断される「うつ病」のことを指します。妊娠中より症状が見られることもあるため、周産期うつ病といわれることもあります。

産後うつ病となる原因是複数の要因が関与するといわれています。ホルモンバランスの変化、睡眠不足、ストレス、社会的なサポートの不足などです。ほかにも、個人の過去の体験、出産の困難さ、赤ちゃんの健康問題なども影響を与える可能性があります。ある医学研究は、日本における産後1ヶ月時点での産後うつ病の有病率は14・3%と報告しています。また子育ては長期戦であるため、出産直後に限らず、産後1年くらい経過しても産後うつ病が発症するリスクが未だに高いことがわかつています。

産後うつ病になると、気分が落ち込み、喜びや幸せを感じることが難しくなります。また感情のコントロールができるのに泣き出してしまふことがあります。多くなったり、イライラしたり、怒りやすくなることもあります。子育てがつらくなり、逃げ出したい、死にたいという感情が芽生えてくるまで自身を追い



いわて医療通信

【出産後、気分が晴れない日が続く時】

産後うつ病を知る

まう方もいます。タニティブルーズのような症状ですが、2週間で症状が収まるのに対し、産後うつ病の症状は2週間以上続きます。

盛岡市青山の住宅街の真ん中に、可愛らしい木造の建物が。外観からも木の温もりが伝わるこのお店は、家庭的なランチが楽しめることがあります。以前よりも医療情報が蓄積されていて、治療者と患者さんとの間で情報を共有し、話し合いをしながら最前の治療方針を決めていくことがあります。そして、パートナーをはじめとした周りの家族や医療スタッフ、地域の保健師などとの連携が重要な要となります。

影響や母乳育児と併用ができるのではないかと不安を感じられるかと思い

ます。薬以外にも、妊産婦のうつ病に効果が確認されている心理療法

岩手医科大学
神経精神科学講座

福本
健太郎